

NPT (核不拡散条約) 再検討会議 代表派遣報告

わたしたちの願いと行動が 平和な世界への架け橋に



被爆、終戦70年を迎える今年、NPT再検討会議に京都生協から2名の組合員を代表派遣し核兵器廃絶への願いを届けました。



NPTとは

NPT (核不拡散条約) は、1970年に「核兵器の拡散防止」「核軍縮」「原子力の平和利用」を目的とした国際条約として発効しました。1995年に条約の無期限延長が決定されて以来、5年に一度、「NPT再検討会議」が開かれています。



全国の生協と被爆者の方々と共に

世界唯一の戦争被爆国である日本から、日本被爆者団体協議会(日本被爆協)より48人と全国の45生協から91人が参加。現地では日本から参加の被爆者をサポートしながら、世界中から集まった人々と一緒に核廃絶へ向けたアピール行動に参加しました。各地で行なわれた被爆者の証言活動や国連本部各所で行なわれた各国政府への要請活動を通して被爆者の願いを届けました。

京都生協組合員の願いを国連へ 募金をはじめたくさんのご協力 ありがとうございます!

- ・核兵器禁止条約の交渉開始を求める署名にとりくみ 23,001筆の署名が集まりました。
- ・NPT再検討会議代表派遣募金

募金合計 **579,425円**

代表者の活動費用に活用させていただきました。



平和へのメッセージ

組合員の皆さんから集めた、平和への願いをこめたメッセージを携えて活動しました。



▼折鶴を約60本のレイにしてNYへ



平和の折鶴

現地での活動で、折鶴を手渡ししながら平和と核兵器廃絶のアピールをしました。



組合員代表 岡 良枝さん

世界へ平和の発信 5日間

証言活動&ヒバクシャレセプション

マンハッタンにある教会の寺院で証言活動。パタパタ鶴で交流も深まりました。

3日目 4/27(月)



国連本部の原爆展会場で開催されたヒバクシャレセプション。2020年までに核兵器廃絶の思いを訴えました。

「未来に目を向けて、若い世代にどうにかして、その悲惨さを継承する。核兵器のない世界の実現のために捧げている」そんな実感をえたレセプションでした。



▲平和の願いをレインボーバンドに託して皆さんと共有

証言活動

4日目 4/28(火)

証言に涙を浮かべるお母さんの姿も。子どもたちにどのように伝えていくのかについて交流しました。

◀ 現地在住日本人のお母さんたちのホームサロンで証言活動。

証言活動・要請行動・原爆パネル展

5日目 4/29(水)

フランス政府代表部への要請行動

核保有国であるフランス政府代表部とのロビー外交で直接、核兵器廃絶に向けた要請を行ないました。



合同結団式

外務省軍縮不拡散・科学部長発行の「非核特使」委嘱状が被爆者に届けられました。

1日目 4/25(土)

「被爆者の方々が日本を代表して核兵器使用の惨禍の実相を広く国際社会に伝達すると共に、将来の世代に継承していくことが役割である」と記されています。▲非核特使の委嘱状



NGO共同行動集会&ピースパレード

2日目 4/26(日)



パレードには世界中の人々 7500人が参加

各団体のスピーチに続いて日本被爆協の中村雄子さんが自らの被爆体験を語り、核兵器廃絶への力強い魂の叫びを訴えられました。



自分の命に代えてでも、二度と被爆者が生まれるような世界にはいけないと願う、被爆者の心からの叫びを実感。鳥肌たち、核兵器廃絶にける姿勢に、心から尊敬した瞬間でした。

知る・考え合う・そしてアクションへ 理事会代表 日比 明子さん

今回の活動を通して国連で話し合われていることが、普段の暮らしに直結しているということを感じました。今を生きる、そして未来を生きる子どもたちのために「平和って何だろう」をテーマに、考え合い、「被爆の実相」や「核兵器の現状」を知ることからスタートです。ママ友の集まりなど、気軽に考え合う場づくりを広げていきたいと思います。



学び 伝える 平和への願い 組合員代表 岡 良枝さん

被爆者の方々と共に活動を通して知ること、学ぶことで国連や世界が身近に感じられました。生の被爆証言は繰り返し聴いても涙が溢れてきました。被爆者の平均年齢が80歳を超えた今、被爆体験を聴き、語り継ぐ活動が大切です。日本国内でも意識して戦争のことを伝えていかないと過去のものになってしまう。戦争を知らない私たちは、未来の子どもたちのために「学び、伝えていく」ことを今後の活動にしていきます。

活動を共にした被爆者からのメッセージ

多摩市原爆被爆者の会(多摩やまばと会)副会長 堀場 和子さん(東京都在住)

私が被爆したのは3歳の頃、長崎の爆心地から3.6km離れた自宅でした。家族は無事でしたが、当時8カ月だった妹は19歳の若さでこの世を旅立ちました。被爆後も原爆症に苦しむ多くの方々と活動を共にする中で今回、初めて証言活動に参加しました。生協代表団の方をはじめ多くの方々をサポートで被爆の実相と核兵器廃絶への願いを伝えました。被爆70年を迎えた今、広島、長崎、福島の願い「核兵器のない平和な世界」を目指して運動を続けていきます。

▲前列右が堀場さん



学び広げよう平和への願い ~ピースアクション2015~

生協では、平和をテーマに地域での学習会やイベントなどに取り組んでいます。今回の代表派遣者のお話を近くで聞いてみませんか?

NPT報告会や学習会に伺います!

お問合せは南ブロック事務局まで ☎0120-075-238(土日休)